



川越市議会議員 無所属

# 松本きみ

活動報告  
令和6年  
秋号

## ◇松本きみ公式HP

<https://kimi-matsumoto.com/>



## 喜びの声 子育て支援の会

Tel : 080-6285-5593

Mail : yorokobi@kimi-matsumoto.com



## 松本きみプロフィール

- ◆川越市南大塚在住 ◆昭和55年4月13日生 2児の母 ◆文京学院大学卒 在学中に保育士・幼稚園教諭資格を取得
  - ◆川越市内の南双葉幼稚園に勤務後、市内の保育園にて主任保育士、園長を務める。
  - ◆令和5年4月の川越市議会議員選挙にて当選。現在1期目。川越志政会所属。
- 【所属】小江戸・こども支援推進協議会アドバイザー／川越きもの日実行委員／NPO 法人川越おかみさん会副会長

令和6年10月発行 第6号

## 日々の活動



性犯罪の案件を受け、地元かし野台にあるエーブルカフェにて性教育講座を行いました。エーブルカフェは、(株)TENGAによって作られたB型支援施設です。木村施設長が性教育について講演をされているということから、基本的な性教育についてお話をさせていただきました。性教育というと嫌がられる事が多い日本ですが、自分の身体についての理解も身につけ、私達も学び直し、子どもたちへと継承していけたらと思いました。



「すくすくかわごえ」の視察に行きました。バス運行利用が少なく、利用者の伸び悩みがあります。月額利用料を安くしたり、情報を取りやすくしたり工夫しているところです。まだまだ課題は残りますが、少しずつ改善しているところです。利用者の方から、駐車場がほしいとの要望をお聞きました。



地元の夏祭りに参加しました。活気ある地域の夏祭りは、毎年盛大に開催されます！私も参加するのを楽しみにしています。地域の課題や地域の方々とお話し合ういい機会をいただいています。



8月30日の大雨により被災された方々にお見舞い申し上げます。久保川付近でも川が溢れ、道路に窪みができてしまいました。関係課の方々には早々に対応いただきました。災害対策にも取り組んでまいります。



小江戸・こども支援推進協議会で不登校児のワークショップ研修を行いました。現場での問題点が明確にわかり勉強になります。



フードバンク川越にて視察に行きました。社会福祉法人川越市社会福祉協議会と連携を取り、子ども食堂や生活困窮者支援事業所への食糧支援のお手伝いをしている場所です。

## 『川越志政会』の活動



川越志政会として「令和7年度 予算要望並びに提言」を川合市長に提出しました。今年度予算同様、来年度についても各施設に対しての予算付けを、意見交換を通じて要望してまいります。



9月23日川越志政会で初めての報告会を行いました。それぞれの委員会での課題や要望、これから行っていく政策などの報告を行いました。たくさんの方々にお越しいただき、皆様から温かい激励のお言葉をいただきました。今後も川越志政会として要望改善へと取り組んでまいります。

## 一般質問 『保育士の人手不足、処遇改善について』

### ・一般質問をした理由

共働き世帯、子育て支援の環境が変わる中、重要性を持つ子育て関係の仕事、未来を担う大切な子どもたちの支援には欠かせない仕事になっています。長く働いても割に合わず、退職してしまう先生方を守るためにも、処遇改善が必要であると考えます。現場での想いや経験から、私の公約の1つを一般質問という形で伝えました。

Q1 市内施設の保育士に係る給与水準は近隣自治体と比較し、どのような位置にあるのか？また、市として給与改善のために行っている取組はあるのか？

A1 保育施設は、国が定める公定価格に基づき積算される施設型給付費や地域型保育給付費を基本的な財源として運営している。この公定価格は、各保育施設の状況に応じ各種加算の有無や程度等の違いはあるものの、国家公務員及び地方公務員の地域手当の支給割合に係る区分に応じて地域区分が定められており、地域によって水準が異なっている。県内では100分の3地域から100分の16地域までの6区分に分かれているが、本市の地域区分は100分の6地域に位置付けられており、隣接する11自治体のうち、本市よりも高いのが6自治体、本市と同等なのが4自治体となっている。なお、保育士の給与水準についても、この地域区分の影響を受けるものと考えている。また、給与改善に向けた取組には、多額の一般財源を要することから現在実施には至っていない。

Q2 保育士の処遇改善に関して、近隣自治体ではどのような取り組みをしているのか？また、本市でも導入できるような取り組みはあるのか？

A2 さいたま市では、常勤職員1人当たり年額19万3,500円を上乗せ補助する「保育士等処遇改善事業」を実施しており、所沢市では、常勤職員等に1人当たり月額2万8,000円を補助する「特定教育・保育施設等保育の質改善費補助金」を行っている。これらの処遇改善には多額の一般財源を要することから、直ちに本市が取り組めるものではないが、東京都の報告書の結果を踏まえると、処遇改善が保育士の確保や保育の質の向上に寄与するものと考えている。引き続き、当部の事務事業の見直しを通じて財源を確保し、川越市の保育園等での就労を希望していただけるような処遇改善につながるよう取り組みたいと考えている。

Q3 潜在保育士の再就職支援について、市としてどのような取り組みを行っているのか？

A3 潜在保育士の再就職支援について市が実施している取組はないが、埼玉県では、潜在保育士に対する復職支援プログラムによる支援を実施している。また、埼玉県社会福祉協議会では、新たに短時間勤務で就職する潜在保育士に対し「潜在保育士就職準備金貸付」を行っており、2年間継続して保育士として勤務した場合、借りた資金の返済が免除される。

Q4 将来のビジョンとして、保育士等の子どもに関わる職種の人たちの労働環境や待遇の改善をどのように位置づけているのか？

A4 今年度までを計画期間とする「第2期川越市子ども・子育て支援事業計画」では、「通常保育事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」などを位置付け、保育の提供や質の向上を進めることとしている。この質の向上には、保育士等の労働環境や処遇の改善も含まれるものと認識している。民間保育所等の運営の充実と振興を図るための具体的な取組として、「民間保育所補助等」という予算事業を設定し、市単独としてはここ数年4億円以上の補助を実施している。人生において、乳幼児期は生涯にわたる生きる力の基礎を育む大切な時期であることから、その時期に質の高い保育を提供する保育士等の役割は重要であると考えている。このため、保育や子育て支援を実践する保育士等の方々が、意欲を持って働くことができる環境の整備が必要であると認識している。

Q5 市として保育士など子どもに関わる職種の処遇改善をさらに推進する必要があると考えるが、今後、どのような対応が具体的に考えられるのか？

A5 共働き世帯が7割と増加傾向にある中で、保育士等への需要は引き続き高く推移するものとする。市としても、保育所等で働く保育士の労働環境や処遇の改善として、市単独補助の制度を設けたり、保育所等の業務のICT化への取組や支援を行ってきた。令和6年人事院勧告では地域手当における級地区分の見直しが示されており、この区分に準拠している公定価格にも影響が及ぶものと考えている。本市としては、このような動向にも注視しつつ、事務事業の見直しを通じた財源確保を図り、少しでも処遇改善につながるような取組を進めたいと考えている。

### ・感想

子育て支援を担う職種の大切さは、行政の方々も理解していて、処遇改善についても重要性を認識してくれていました。公定価格の問題や市の財政難もあり、すぐに実行することは難しい現状であることも分かります。しかし、子育て関連従事者の処遇を軽んじることなく、今後の待遇改善にもしっかりと取り組んでいただけることを期待しています。改めて、子育て関連従事者の給与改善は、長期的に安定して働ける環境を整え、子どもたちに、より質の高い教育とケアを提供する基盤となります。その努力と献身に対して正当な評価を行うことは、未来を担う子どもたちの成長に大きく貢献する大切な一歩だと信じています。

※一般質問とは⇒市議会議員が市民の関心事や市政に対する問題を提起し、市長や市政府の担当者に対して回答を求めること。市民の声を反映させる重要な機会。

令和6年第4回定例会(9月定例会)の情報は、川越市公式ホームページ→川越市議会からご覧いただけます。